

独立プロ名画「ひろしま」鑑賞会

解説 本田勝利氏

とき 11月25日(日)
12時30分開場 13時開演

ところ エル・パーク仙台(141ビル)
ギャラリーホール(6F)

参加費 大人 500円
中・高 300円

監督 関川 秀雄

出演 岡田英次 月丘夢路 山田五十鈴 原保美 花沢徳衛

<概要>

長田新が編纂した文集『原爆の子～広島の子のうた』を八木保太郎が脚色した。同じ原作を元にした作品として新藤兼人監督・脚本の『原爆の子』があり、当初、日教組と新藤の協力で映画製作が追究されたが、結局両者は話が折り合わず別々に製作することになり監督は関川秀雄になった。関川は広島に原爆が投下された直後の地獄絵図の映像化に精力を注ぎ、又被爆者たちのその後の苦しみを描いた。

映画は、広島県教職員組合と中高生を含む広島市民9万人がエキストラとして出演。55年ベルリン国際映画祭で長編映画賞を受賞するも興業から締め出されほとんど上映されなかった。

<内容>

広島市のある高校の1クラスで白血病により女子生徒みち子が倒れる。原爆症におびえて過ごすみち子や精神的に歪められた男子生徒ら生徒たちの姿を描く。みち子は原爆が投下された1945年8月6日の朝からこれまでのことを思い出す。



広島市出身の月丘夢路はノーギャラで出演

企画 婦人民主クラブ宮城県支部協議会
仙台市若林区荒町58

TEL・FAX 022-221-9811

主催 (公財) せんだい男女共同参画財団

☆ 67年前の原爆による少年少女たちの悲しみ・苦しきは、3・11大震災東京電力福島第1原発事故という形で21世紀の若者や子どもたちも背負うことになりました。

ヒロシマ・ナガサキ・フクシマという特別な意味を持つ地名のある日本。平和で安全な社会で安心して暮らしていくためには？

今、このことを真剣に考えて行動する時ではないでしょうか。

託児について

対象 6ヶ月以上小学1年生まで
(しょうがいのあるお子さんや上のお子さんについてもご相談下さい)

託児利用料 300円(子ども1人/1回)

申込締切 11月15日

(先着順、定員になり次第締切)

申込先 エル・ソーラ仙台

TEL022-268-8044 FAX022-268-8045